

トピック(テーマ)	長野・更埴地域の文学(1)		
ねらい	風土が文学に与える影響は大きい。長野・更埴地域について代表的な文学作品について調べる。		
キーワード	姨捨 芭蕉 面影塚 加舎白雄 万葉集 田山花袋 三水村 一茶 柏原村 山田美妙 戸隠紀行 津村信夫 戸隠の絵本 中村八郎 桑門の街 丸山健二 別役実 層 高原文庫 長野文芸 木馬 斎藤史 原型 潮音 白夜 宮原茂一 清原日出夫 高橋忠治 和田英 富岡日記 松井須磨子		
概要を知るためのツール	1	書名	長野県文学全集 第2期/随筆・紀行・日記編 第1巻 明治編
		著者名	
		出版社	郷土出版社
		出版年	1989.11
		内容紹介	みちの記 森鷗外著. 戸隠山紀行 山田美妙著. かけはしの記 くだもの正岡子規著. 碓氷 東信名勝の一二 徳富蘆花著. 浅間山のひと夜 大町桂月著. 吾が少年時代(抄) 久米正雄著. 北信の遊跡(抄) 秋の岐蘇路雪の信濃 田山花袋著. ほか4編
資料リスト	1	書名	姨捨の系譜
		著者名	工藤茂／著
		出版社	おうふう
		出版年	2005.2
		内容紹介	日本文学を貫流する「姨捨、姥捨、棄老」のモチーフにスポットを当て、「大和物語」「日本霊異記」から柳田国男「親棄山」、太宰治「姥捨」、小池真理子「姥捨ての街」などの現代文学の中にその系譜を見いだす。
	2	書名	姨捨山の文学
		著者名	矢羽勝幸／著
		出版社	信濃毎日新聞社
		出版年	1988
		内容紹介	古典の姨捨山、芭蕉の来遊、蕉風のメッカ、月の都、観光化と復興等の目次で構成される姨捨山の文学研究必携の書
	3	書名	風と花の輪 (創作少年文学):創作少年文学
		著者名	塚原健二郎／著
		出版社	理論社
		出版年	1967
		内容紹介	
4	書名	津村信夫全集 第2巻	
	著者名	津村信夫／著	
	出版社	角川書店	
	出版年	1974	
	内容紹介	戸隠の絵本 善光寺平 戸隠の語部 ほか	
5	書名	小林一茶 (人物叢書 新装版)	
	著者名	小林計一郎／著	
	出版社	吉川弘文館	
	出版年	1986.2	
	内容紹介	小林一茶の肖像 年譜 小林一茶関係北信濃略図が載っている。	

	6	書名	富岡日記 (大人の本棚)
		著者名	和田英／著
		出版社	みすず書房
		出版年	2011.2
		内容紹介	明治6年、16歳のときに同郷の長野県松代の女子15名とともに官営富岡製糸場の伝習工女となった著者が、技術の習得につとめた1年数か月の日々を綴った回想記
	7	書名	定本花袋全集 第14巻
		著者名	田山録弥／著
		出版社	臨川書店
		出版年	1994.5
		内容紹介	三水村を舞台にした『重右衛門の最後』はじめ、『梅屋の梅』『女教師』『山小屋』『春潮』『憶梅記』『野の花』等を収録している。
8	書名	ビワの実 (坪田譲治名作選)	
	著者名	坪田譲治／著	
	出版社	小峰書店	
	出版年	2005.2	
	内容紹介	子どもから大人まで楽しめる童話、小さい子どもたち向けの短い話、昔話をもとにした大人向けの作品など多彩な18編を収録。	
9	書名	女優【上・下】	
	著者名	渡辺淳一／著	
	出版社	集英社	
	出版年	1983.6	
	内容紹介	女優になった須磨子が、島村抱月とともに「芸術座」の公演と抱月との愛を経て、病死した抱月を追って大正7年11月4日に自殺するまでを描いている。	
10	書名	夏の流れ/河	
	著者名	丸山健二／著	
	出版社	田畑書店	
	出版年	2020.7	
	内容紹介	23歳で書いた処女作で文学界新人賞と芥川賞をダブル受賞し、文壇に衝撃を与えた著者がデビュー作「夏の流れ」と「河」の2編を改めて世に問う。	
雑誌	1	論題名	姨捨山と人舁田—その伝説の考証と現代的意味—
		著者名	横山十四男
雑誌名		信濃	
出版年			
巻号頁数		第3次第57巻第5号	
2	論題名	北信濃の俳諧を指導した小林迎祥(一)	
	著者名		
	雑誌名	長野	
	出版年	311号	
	巻号頁数	2018.12	

長野・更埴地域の文学(1)

インターネット	1	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	https://iss.ndl.go.jp/
		概要	キーワードにより、関連する図書、記事論文などを探することができる
	2	サイト名	信州ブックサーチ
		URL	https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html
		概要	キーワードにより、関連する図書、記事論文などを探することができる